

ふき た さ と 吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円
振込先/00980-3-28845 NPO法人すいた市民環境会議事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目-8-28.705/TEL & FAX 06-6386-9491 中村小夜子
ホームページ <http://www.sutv.zaq.ne.jp/sskk/sskk-top.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/古谷啓伸

5月18日(土)に 第3回総会を開催します

市民会館 大集会室

受付開始 12時30分

開会 13時00分

欠席予定の正会員は同封の委任状の提出をお願いします

オークションもおこないます 7頁

誌上フォーラム **ビオトープの課題** 8頁

吹田操車場跡地の吹田貨物ターミナル駅建設で
吹田市環境影響評価条例に基づく評価準備書についての意見書 2頁



箕面市小野原西の開発が
千里北公園に肉薄 4頁

高町池でかいぼり大作戦
ソウギョなどを捕獲 13頁
←集めた魚をたも網ですくい上げる

理事会

毎月第3土曜日に市民会館で1時30分から行なっています。理事でない方も
お気軽にご参加ください。

吹田貨物駅建設事業の環境影響評価 準備書についての意見書

(提出したものを再編集しました)

すいた市民環境会議は2000年2月に吹田貨物駅(仮称)建設事業の実施計画書についての意見書を提出しました。その中で我々の提案した数点、つまり現地で動植物調査を実施し、説明会で模型の展示やCG上映をすることなどが、今回の環境影響評価準備書で採用されたことは評価できます。

なかでも、市民からの意見の中ではごく少数であった、高架道路を平面化する提案が採用されたことは、吹田市民として環境影響評価条例の存在の恩恵を享受できたと誇りに思えます。

もし吹田市に環境影響評価条例がなかったら、あの高架道路の案がそのまま実施されていたわけで、背筋が寒くなる思いをするところでした。

ここで、今回の環境影響評価準備書についてのすいた市民環境会議の意見を紹介します。

1 貴重な動物について

準備書では「貴重な動物が確認されているが、ほとんどは別の地域へ逃避する」と片づけている。さて、どこへ逃避すると考えているのだろうか。

ヒバリやケリなどは、営巣場所・隠れ家・餌場・縄張りなどに一定の広さが必要である。しかし吹田市域やその付近ではもはやそのような広い場所はほとんど存在しない。つまり、別の地域へ逃避するにも「できない」と考えられる。

アセスの事後監視で調査項目にこれら貴重な動物および吹田市民にとっては今や貴重な動物となっている草原の生き物であるヒバリやケリなどの逃避先を含めて頂きたい。

2 ヒートアイランドについて

準備書によると、現在の草原がコンテナホーム・中継コンテナホーム・駅本屋などに代わり、アスファルトなどで覆われたものになる。駅本屋などの建物の屋上緑化や市との境界部分でビオトープを創出するなど、ヒートアイランド現象を少しでも低減させる手段を講じて頂きたい。

3 ゼロエミッションについて

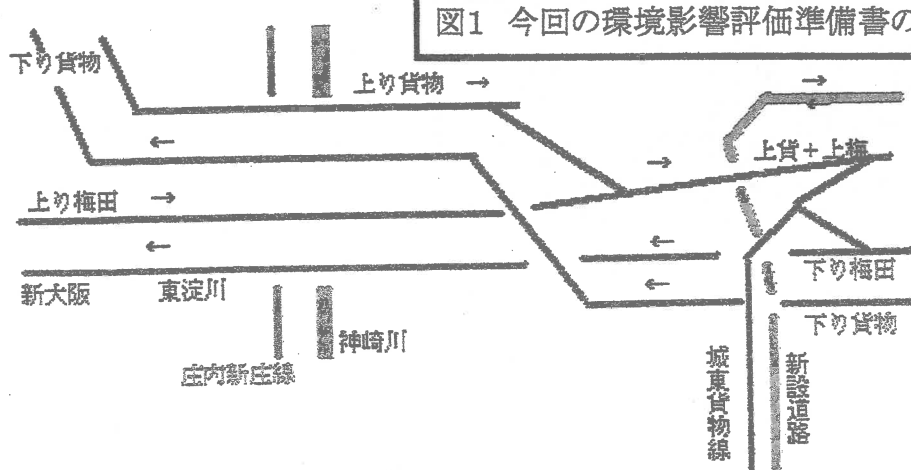
準備書では「貨物駅施設から排出される廃棄物は、吹田市におけるごみ総量の約0.13%であり、大きな影響はないと考えられる」とし、食堂から出る厨芥類の処理方法は「一部堆肥化」としている。しかし「一部」という表現ではわからない。

これでは市長の意見書の付帯意見である「廃棄物のゼロエミッションを目指した取組について十分に検討すること」の回答になっていない。

現在すでに吹田市のごみ焼却量は焼却炉の処理能力の限界を超えている。ISO14001取得を目指す事業者として、「廃棄物のゼロエミッションを目指すことは当然のこと」として対処しなくてはならないと考える。

4 地球環境について

すいた市民環境会議など市民からの意見で「中継コンテナホームや駅本屋などの屋上に太陽光発電装置を設置し、冷暖房の電力を自給または補完していただきたい」に対しては「詳細設計で検討」とのことである。検討ではなく実施していただきたい。



5 貨物専用道について

準備書では出入口は二車線で南清和園公園南西で十三高槻線に合流することになっている。しかし、ここは小学校や保育園がすぐそばに存在する場所である。

貨物専用道路は城東貨物線の北側を西進してくるのだから城東貨物線の西側に出るのが自然である。地下道を掘って、敢えて貨物線の東側に出る理由の説明が必要である。

(図-1 参照)

すいた市民環境会議は、貨物専用道について以下の5つの提案をしました。

提案1

貨物専用道路の出入口は城東貨物線の西側に設けること。

提案2

千里丘駅の北東方向に存在する大阪貨物ターミナルへの引き込み線の横を利用して近畿自動車道(中央環状線)に自動車道を設ける。

この提案1と提案2とにより、貨物トラックは一方通行が可能となり、南吹田の十三高槻線を通るトラック台数は半減し、大気汚染への寄与率も半減するだろう。この効果は東淀川区以降、新御堂筋にも及ぶものである。

そして、一方通行の一車線であるので、道路の幅員は準備書の半分となり、穂波町・泉町・西の庄町に現存する線路の北側法面の草むらが温存されよう。

提案3

庄内新庄線から直接鉄道敷地へ
新御堂筋から(仮称)吹田貨物駅に向かう上りトラックなどは庄内新庄線の淀川区東三国2丁目から直接現在のの上り貨物線(跡地)に上がる方法である。このためには新大阪駅付近から線路の使用方式の変更を伴うが、技術的には十分に可能であると考える。(図-2 参照)

提案4 対面通行

提案3の場合、本準備書と同じく穂波町以東の貨物専用道路は二車線になるが、信号処理による一車線の対面通行として、穂波町・泉町・西の庄町にある現在の法面の雑草を温存して頂きたい。準備書では、この法面の動植物アセスがおこなわれていないが、ここにも昆虫やそれを捕食する野鳥が集まっているのである。

一時間に最大64台程度の通行量なら、一車線として信号処理で対面通行としても業務に支障をきたすとは想像しがたい。

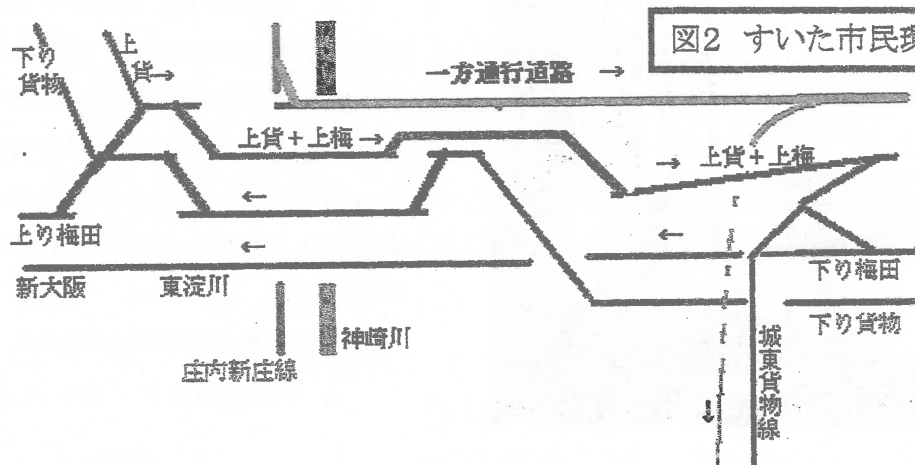
提案5 吹田市内に出入口を設けない方法

提案2(=千里丘から近畿自動車道へ行く方法)と提案3(=庄内新庄線から直接鉄道敷地に上がる方法)を用いれば、入口は淀川区東三国2丁目、出口は茨木市宇野辺2丁目となる一車線の一方通行が可能である。

この方法を採用すると、吹田市内に出入口は存在しなくなり、交通事故発生確率や、余分な大気汚染・騒音の影響を受ける範囲を軽減できることとなる。勿論、東海道線の下を掘削してトンネルを作る工程も不要となり、工費、工事期間の大幅な削減に繋がると考える。

当会として、梅田貨物駅(の機能の半分)が吹田にこない方策を提案したかったのですが、吹田市環境影響評価条例の範疇で、閣議決定やいわゆる五者協定をくつがえすだけの対案を作成できませんでした。

しかし、21世紀の吹田市における環境を考えると、吹田市(および東淀川区)への本事業による影響を可能な限り少なくするために提案を含め、意見を述べました。(文責 小田忠文)



小野原西区画整理での吹田市境界部分に関する再要望書

2002年2月19日

箕面市長 梶田 功 様

すいた市民環境会議

箕面市がすすめられておられる小野原西の区画整理事業で吹田市との境界部分に関して、2000年2月2日に、当会より箕面市に要望書を提出し、同年3月9日にご回答をいただいております。

その後、区画整理事業が開始されている現状や、小野原西区画整理事業の造成平面図を拝見することができました。

それによりますと、私たちが要望していました「吹田市との境界部分に、20m以上の緑地帯を確保して欲しい」という件は、受け入れてもらえず、開発は境界ギリギリまで行われようとしています。

最近の私たちの生物調査によりますと、北千里公園と箕面市との境界部分では●●●(大阪府■種)が生息しており、●●●(大阪府■種)が発見され、さらにオオタカの餌場になっていることなどがわかりました。

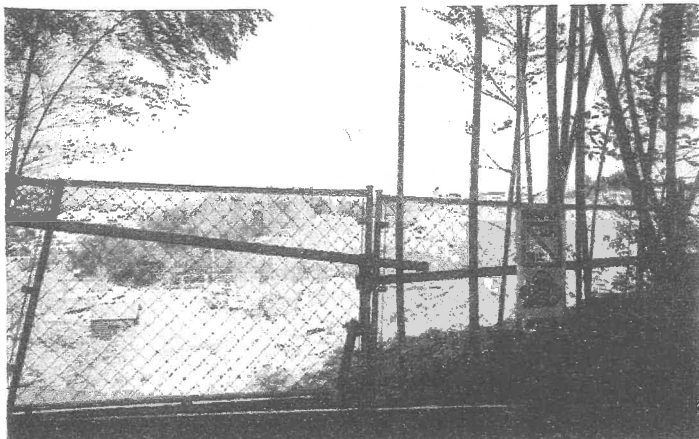
箕面市のホームページ「市長室から」で市長は最初に、『箕面市は「人のあたたかさとかげがえのない自然を守り育てる」まち』と謳っておられます。

しかし現状は、新たな展開になっておりますので、再度以下の要望書を提出いたします。

2002年3月中旬までに文書で回答していただきますようお願いいたします。

なお、この文書は吹田市にも報告し、吹田市にも改善をはたらきかけていることをお知らせします。

3月下旬、市界の遊歩道から写す



1. 貴重な生き物の保全のためにも、吹田市との境界部分に、20m以上の手つかずの緑地帯を確保していただきたい。

理由：吹田・箕面両市の境界部分は、いずれもみどり豊かな緑地帯として、青少年の自然体験や市民の憩いの場所になっています。

また、昔からの豊かな自然が残っているため、大阪府でも数少なくなった、●●●や●●●、オオタカなどの生き物のすみかや餌場になっていることもわかってきました。

これらの生き物は、この境界部分だけでなく、箕面市小野原西の田んぼや畑、ため池、林も生活の場所として生きているものです。

今回の区画整理事業で、その大半が失われる予定です。それらの生き物たちの生息場所としてせめて、吹田市との境界部分だけでも手つかずの状態に保存できるような配慮をお願いします。

もちろん、区画整理事業が完成すると、箕面市の住民もこの吹田市との境界部分を利用なさると思います。箕面市側に緑地帯が残されていないとなれば、箕面市としても大きな禍根を残すことになりましょう。

2. 吹田市との境界部分については、今後も吹田市の行政とも連絡をとりながら、区画整理事業をすすめていただきたい。

理由：箕面市の区画事業とはいえ、吹田市に接する部分においては、吹田市民も多大な影響を受けます。区画整理事業が完了すると、多くの箕面市民も吹田市側の交通機関や道路を利用することが考えられます。

また、遊歩道や北千里公園も両市の市民が利用することになります。自然豊かで緑におおわれた環境づくりは、両市にとっても重要な課題であるはずですが、十分な話し合いの上、事業をすすめていただくことを要望いたします。

(●は稀少生物を捕獲から守るために隠しました)

箕面市長 橋本卓様

すいた市民環境会議

現在すすめられておられる小野原西の区画整理事業について、吹田市との境界部分に関して、いくつか憂慮する問題がありますので、以下の質問と要望をします。2000年2月末までに文書で回答していただきますようお願いいたします。

■小野原西の区画整理地区の吹田市との境界部分に、20m以上の緑地帯を確保していただきたい。理由：境界部分の吹田市側は、吹田市立青少年野外活動センターと千里北公園になっています。いずれも、みどり豊かな緑地帯として、青少年の自然体験や市民の憩いの場所になっている地域です。吹田市側からみると、箕面市境界の竹藪や緑地は景観的に緑の後背地として、周辺環境に貢献しています。

また、境界周辺は、昔からの緑豊かな自然が残っている場所です。カブトムシやクワガタなど多様な生き物が生息しています。箕面市側の開発に伴い、それらの生き物が大幅に減少することが考えられます。

21世紀は世界的に多様な生き物にも配慮した開発が求められる時代です。原風景を生かし、生き物たちへ配慮した開発が必要です。そのためには、市境部分より少なくとも20m以上の緑地帯を、現状のまま残すことに意義があると考えます。

小野原西区画整理での吹田市境界部に関する回答(2000年3月9日付け) 箕面市長 橋本卓

謹啓 (前文略)

さて、先般の小野原西区画整理での吹田市境界部に関する要望書の件につきまして、下記のとおり回答いたします。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

記

■『小野原西の区画整理地区の吹田市との境界部分に、20m以上の緑地帯を確保していただきたい。』とのことですが、土地区画整理事業は地権者が土地を出し合って公共施設の整備改善と宅地利用の増進を図る事業でございます。

現在の計画におきまして、将来を見据えた緑豊かなまちづくりをめざしており既に緑地は区域内に必要以上確保、また適正に配置しておりますことから、これ以上の緑地のための用地負担を地権者に求めることは事業の成立上妥当ではないと判断いたしております。

なお、吹田市との境界部分につきましては、造成計画上法面処理が発生すると思われませんが、この法面部分の緑化につきまして、今後関係者と協

■千里北公園北側の高い部分に、「中高層共同住宅」が予定されていますが、景観保全、プライバシー保護の観点から中止していただきたい。

理由：建設予定地は、高台になっていて、そこに中高層共同住宅建設されると、吹田市側の住宅地は、かなり上から見下ろされることとなります。隣接する吹田市藤白台は閑静な一戸建て住宅地であり、プライバシーの侵害が起きる可能性があります。さらに千里北公園の緑の後背地としての景観が台なしになってしまいます。

また、開発されると、多くの住民が阪急北千里駅等を利用するために、周辺道路が混雑することが予想されます。人口密度の高い、中高層共同住宅の建設は、中止していただきたいです。

■吹田市との境界部分については、吹田市の行政とも連絡をとりながら、区画整理事業をすすめていただきたい。

理由：箕面市の区画事業とはいえ、吹田市に接する部分においては、吹田市民も多大な影響を受けます。区画整理事業が完了すると、多くの箕面市民も吹田市側の交通機関や道路を利用することが考えられます。また、遊歩道や北千里公園も両市の市民が利用することになります。自然豊かで緑におおわれた環境づくりは、両市にとっても重要な課題であるはずで、十分な話し合いの上、事業をすすめていただくことを要望いたします。

議・調整を行いながら緑化がはかれるよう努めてまいりたいと考えております。

■『景観保全、プライバシー保護の観点から千里北公園北側の高い部分の「中高層共同住宅」を中止していただきたい』とのことですが、本地区の「共同住宅区」は土地利用の混在を防ぎ整ったまちなみを形成するため、本地区のまちづくりには必要なものであり、その予定位置につきましては地区外の住宅地周辺土地利用等を十分考慮して設定しております。

また、藤白台の住宅地との離隔も十分とっており影響がないと考えられますが、景観保全、プライバシー保護につきましては、今後建築主に対して指導してまいりたいと考えております。

■『吹田市との境界部分については、吹田市の行政とも連絡をとりながら、区画整理事業をすすめていただきたい』とのことですが、事業の進捗に応じて吹田市と協議・調整を図りながら事業を進めております。

テーマ 新しいライフスタイルの提案 **グリーンコンシューマーになろう**

講師 本間 都 先生 (関西水系連絡会事務局長・京都精華大学講師)

■グリーンコンシューマーとは?

1. 環境に配慮した商品を選び、使い捨てでなく循環型のライフスタイルを持つ消費者のこと。
2. 自分の生活で、省エネをする。ごみ減量、分別回収、リサイクルに取り組む。農業や添加物の少ない食品を購入する。(自分の安全は自分で守る)
3. 企業に対して、環境配慮の製品やサービスを行う企業の製品を購入し投資する。国際環境規格ISO14000の取得、エコマーク製品を評価する。環境保全への寄付や助成、情報公開をしているか。(企業を見つめる)
4. 行政に対して、環境施策に協力し、提言する。ごみ分別回収とリサイクル、省エネ、グリーン調達を行っているか。(監視し提案する)

■温暖化とエネルギー消費

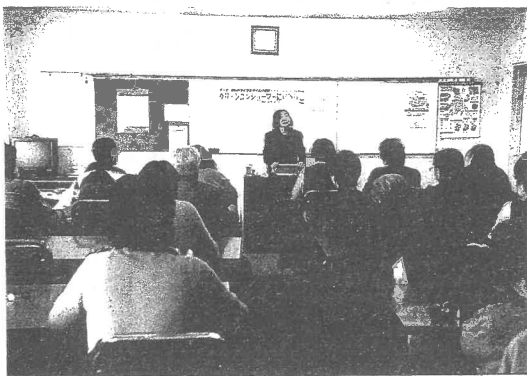
- ・地球温暖化防止のために炭酸ガスの排出量を削減する。
- ・日本の主な発生源は火力発電が約30%、クルマの運転が約20%を占めている。効果的な削減方法は「節電」。

■家庭の炭素ガス排出量と電気使用量

- ・日本のエネルギー消費に占める家庭用の率は13.8%。
- ・電気使用量について、20年前は現在の3分の1、10年前は3分の2であった。増加率が高い原因は、電化製品の大規模化、複雑化、多機種所有と核家族化である。

■上手な節電法

- ・電力消費の要素を知り重点的な対策を心掛ける。①消費電力の大きな物(エアコン、冷蔵庫、照明、テレビ) ②使用時間が長いもの ③実行効率の高いものは節電効果も高い。白熱灯→蛍光灯への変更は効果が高い。
- ・省エネ型の製品を選ぶ。(最も楽な方法!!)
- ・使わない時、電化製品はマメに消す。
- ・待機電力を減らす。(プラグを抜くこと)



■買い物はごみの源〜グリーン購入

- ・買い物は必ずごみになる。必要なものしか買わない。
- ・購入時に再利用を念頭に置いて選ぶ。
- ・エネルギーや資源が新たに加わることを認識する。
- ・家庭ごみを分析する。特に生ごみの24%は料理の残り、14%が手付かず食品。(期限切れ、食べ忘れ、貰い物)

■環境家計簿のすすめ

1. なにはともあれ、つけてみること。
メリットはつけて初めてわかる。
各家庭の生活スタイルに応じた効果が現れる。
2. 標準的なメリットの例
 - ・節電、節水、ごみ減らしなど、選んだ目的について成果が出てくる。家計にプラスになる。
 - ・自分の家庭のライフスタイルの贅肉とスリム化のポイントが見えてくる。
 - ・数値や統計に慣れる。科学的、論理的な思考の育成、プロ化への発展の第一歩。
 - ・家庭から社会の窓が開ける。視点の普遍化で客観性、社会的な活動に踏み出す。
 - ・家族のきずなが深まる。 などなど

どんな小さなことでもいい、一つからやって見ましょう。
(以上、講演会レジュメより抜粋)

上記以外にも、水の問題や電力発電の問題など環境問題全般についてのお話をして頂きました。今回の講演を通じて、実生活に根ざした視点から社会全体の問題を浮き彫りにしていく姿勢と科学的、論理的な思考の大切さを学びました。そして、問題に気付いた人たちの協働によって少しずつ社会を変えていくことができる新しい時代の可能性を感じました。(生活環境委員会 橋口健一)

「環境を思いやる心や習慣は、物やお金をたくさん欲しがるともならずやさしく温かいので、21世紀は自然の回復と共に、心の回復や人間関係のやさしさももたらされる世紀になることでしょう。」

～ 本間 都 著 「あつ危ない生活環境・・・21世紀のエコライフのために」 駿河台出版社 あとがき より ～

この取り組みは(財)イオン環境財団の助成を受けています。

総会でオークションに参加を

5月18日に開催する総会終了後に、オークション(競売)を予定しています。

総会を盛り上げるため、オークションにも積極的に参加(物品の無償提供と競りへの参加)しませんか。

1. オークション用物品の無償提供・・・自分の家では不用品(=眠っているもの)であっても、他の人に有効利用されると思われるリサイクル品の無償提供
2. オークションへの積極的参加・・・無償提供して頂いた物品は、全てオークションにかけます(残念ながら売れなかった場合は、希望者に無償で持ち帰ってもらいます)。
3. オークションの売上金=収益は、すいた市民環境会議への寄付とさせていただきます。
当然ながら、競り勝った商品はお持ち帰り頂きます。
物品は当日受付まで持って来てください。

あろくく吹田の散策シリーズ

南千里コース 5月25日(土) 9時30分～正午頃 小雨決行

集合 阪急南千里駅改札口 解散も同駅

コースのほとんどが緑地または街路樹です。ニュータウン開発前からの里山が残り、奇跡的にホテルが残った場所もあります。

豊津・片山コース 6月22日(土) 9時30分～正午頃 小雨決行

集合 阪急豊津駅改札口 解散はメイシアター(阪急吹田駅)

文化施設、社寺、工場、商業地域、公園、水辺…と、さまざまなまちなみのダイジェストコースです。当日はメイシアターを会場に吹田環境教育フェアが開催されており、午後はフェアを自由に見学していただけます。

いずれも**参加費** 会員400円、非会員500円

連絡先 松岡 TEL & FAX 06-6384-8168

ガイド役でおなじみの岡村昇二さんの一言。「私が住む地区の高野台高齢者クラブ・ハイキング部では、登録メンバーが130人に増加し、毎月の行事参加者が50人前後と賑やかです。行き先の大半が、『あろくく吹田』のコースです。」 [田中・まちなみ委員]

短信

千里丘の民有地に野生のキツネ一家が棲んでいることが22号で報告されました。現在は緑地の状況ですが、ついにその土地を売却する話が聞こえてきました。キツネのために緑地を少しは残してくれても、棲むには不十分な広さしかないでしょう。どうしたらよいのでしょうか。

最近、ヒメボタルが見られる海老池でタヌキの棲息が目撃されています。

[高畠・副会長]

自然保護 善意のつもりが……

自然科学の専門家がどう関与するかが重要

① 1月に京都市で学校ビオトープセミナーが催され、参加者は70～80人くらい、吹田市からは教師ら5人が参加した。

現場で実践する人は、学校でのビオトープとは公園や学校の校庭などに作られる小規模の水辺空間であり、「トンボ池型ビオトープ」とかなりわりきった考え方を述べた。「学校ビオトープは保全生態学からされる場合があるが、その意義はある」という考え方が示された。

それに対して、大学の先生がかなり挑戦的に怒った口調で小学校の先生に問いただした。

- (1) ビオトープの位置づけ、定義はどう思っているのか。
- (2) ビオトープづくりの目的は何か、どの方向に持っていこうとしているのか。
- (3) 疑似自然を作って、子どもはそれで自然が回復したと思わないのか。

また別の方が、「自然一杯の川のフィールドに子どもを連れて行っても、子どもと一緒に自然とふれる方法を知らない教師が、学校にビオトープを作って自然にふれさせることができるのか」とかなりきつい意見を出した。

私は、「実践発表の教師を捕まえて、認識不足だの定義がどうだのと専門家が言うのがビオトープの意義を深めることになるのか。ビオトープそのものに反対しているのではないか。そもそも、専門家や学者が、自然保護教育にどれだけ関わってきたのだ。自然保護の学者グループなら、自分たちが

どうすれば自然保護教育を担えるのかを、学校ビオトープの実践を通じて学ぶべきでないのか」と反論したが、議論はここで時間切れ。

② まさにそのとおりで、専門家なり研究者が自然環境教育にどのように関わっていくかが今後議論されるべきである。

しかし私も含めて、「学校ビオトープ」というものをこのまま手放しで推進していいのかという疑問は実際ある。「学校ビオトープ」が、なまじ「ビオトープ」などという名称を使っているために、様々な誤解や、ともすると間違った教育になりかねないという危惧があり、さらには学校ビオトープに動植物を導入することが、ときに業者による乱獲を助長することになりかねないとする考えがあり、それを研究者たちは問題として今回のセミナーが開かれている。

学校の先生は、子供たちの教育が仕事である。自然環境保全が仕事ではないし、ほとんどの方はその専門家でもない。マニュアルのない中で試行錯誤を重ね、苦労されていると同時に失敗や誤りもしているだろう。進め方を誤れば、当然誤った知識を子供たちに植え付けてしまうことにもなる。だからこそ、自然科学の専門家がどう関与するかが重要だと思う。

私は学校ビオトープを議題にする電子メール会議で、「学校ビオトープは自然を破壊する」という命題で議論をふっかけたことがある。だって、日本全国津々浦々の学

校がビオトープを作るとかいて、そこらじゅうから水草を入れるとなれば、これはケナフに次ぐ一大新市場になる。種苗メーカー、造園業界、さまざまなビオトープ業者が自然界から生物を乱獲・搾取するのは目に見えている。実際、さまざまなビオトープ商品が最近では売られるようになった。教師と研究者の間の溝は深い、これは

議論し尽くすべきだし、私は今のままでは「学校ビオトープ」を推進するには懐疑的である。

開発事業の言い訳になったビオトープ

●ビオトープというものは、もともとは造成したりするものではなくて、巷にも畑のすき間にも山裾にもどこにでもあったし、

吹田ビオトープマップ

2002年1月

～吹田にすんでいた生き物と原風景をとりもどそう～

ビオトープ(biotop)とは「生命」を表すbioと「場所」を表すtopを合成したドイツ語で、いろいろな野生の生き物が、それぞれ関係をもちながらくらしている場所です。

吹田は30数年前までは自然豊かである生き物たちがすんでいました。急激な都市化で、吹田にもともとすんでいた虫や魚や野鳥、植物などが少なくなっています。今、学校や公園や空き地で、それらの生き物をよびこめる場所をつくりはじめています。これらのビオトープは、小中学生や環境を考える市民、行政の手でつくられています。

青山台中学校 (制作中) (1999年)

古江台中学校 (1999年)

校庭に小さな池、理科の選択授業で作った

南千里中学校 (制作中)

山田第二小学校 (制作中)

山田中学校 (制作中)

校庭隣の樹木の間に池がある

山田小学校 (2001年)

中庭にある規模の大きなビオトープ池、小山、小川、樹木が配置されている

西山田小学校 (2001年)

環境団体が農地の一角を利用して作った田んぼ、メダカ池、湿地、草むらがあり、スイタクワイが植えられている

垂水上池公園 (2000年)

行政がはじめて作ったビオトープ公園

岸部第一幼稚園

吹田第六小学校 (制作中)

柴立山メダカ池の田んぼ (1999年)

環境団体が農地の一角を利用して作った田んぼ、メダカ池、湿地、草むらがあり、スイタクワイが植えられている

山手小学校 (1999年)

校舎横に、池、小山、樹木がある吹田の学校ではじめて作った

吹田第三小学校 (制作中)

学校とPTAが協力して池づくり

写真の()は制作年

また、あるべきものだと思う。なのに、某法人の作戦？が図にあたり、あちらでもこちらでもビオトープという言葉が闊歩^{かつぽ}し始めてしまった。特に開発を志している企業・行政などにとっては、まことに都合のいいことばである。大規模開発をしても造成後の敷地の一角にビオトープをつくって宣伝すれば、環境にやさしい開発事業として世間様に認めてもらえるのだから、こんないいことはない（この場合、ビオトープも開発コストの一部分にすぎない）。

ケナフについて
も同様な部分がある。環境を日々壊しておきながらも、ケナフを育て、タケの割箸を使うことで安心できるとすれば表面的には環境にやさしい企



ケナフの5花弁は淡いクリーム色

業・行政などにとって、こんな結構な話はない。本当は日々の生活自体をどんどん見直し、環境に関わる姿勢を変え、政治にまでそれが及ぶような生き方をしないと地球環境問題は解決しないはずなのに、極めて部分的な改善ですませようとする姿勢。もしも、だれかがケナフやビオトープづくりだけでいいと納得しているのだったら、それは原発が地球に優しいという主張と同様にたいへん「面白いこと」だと思う。

少なくとも日本でのビオトープの本質は、生物の緊急避難先確保と環境保全の旗印、環境教育の道具であると認識している。最近では、ビオトープも、生物同定能力も、観察会も、野鳥識別能力までが検定。悪いとは言わぬが、みんな、法人の収益源になるばかりでは困ったことだ。

(傍聴席) **II** 私もそんな法人の収益源になってしまった。ところで、ケナフが、(1) 環境保全に特に役立つわけではなく、むしろ帰化植物を増やす害の方が心配であること、(2) 二酸化炭素も、大気中→植物組織内→(腐敗・焼却)→大気中と循環しているだけで減少するわけでない、(3) 利用し切れずに焼却すると化石燃料の分だけ大気中の二酸化炭素が増える、ということに気づいていないのではないか。

ケナフは日本を救えない

I ケナフとビオトープを批判する本を紹介する。

《タイトル》 ちょっと待ってケナフ！
これでいいのビオトープ？
—よりよい総合的な学習、
体験活動をめざして—

《著者》 上赤博文

／佐賀県教育センター研究員

《発行・発売》 地人書館

《出版年月》 2001年11月

《ページ数》 184頁

《本体価格》 1800円（定価1890円）

最近、学校現場や市民活動において、環境復元への意識が高まり、生き物との触れ合いが重要視されてきているが、ビオトープがその本質を理解しないまま造られている、「地球の救世主」などのキャッチフレーズが鵜呑みにされている。種がまかれるケナフ、あるいはメダカやホタルが遠くから運ばれてきてあちこちで放流されていること、ペットや園芸植物が野生生物と区別なく扱われていること、など生き物を用いた様々な活動に問題点が指摘されている。しかし、そのような活動に熱心に取り組んでいる方々は地球環境問題や自然保護に熱

心でよいことをしているという意識があるため、そうした問題点になかなか気づいていない。

本書は経験と情報を活かして「生き物を扱うルール」について意見を述べて、今後の活動への提言もしている。

IN 私もその本を読んだ。多くの人が「ケナフ＝環境に優しい植物」、「ビオトープ＝メダカ池をつくること」と考えている現状に対して、正しい理解を深めるための書籍として、私は高く評価したい。

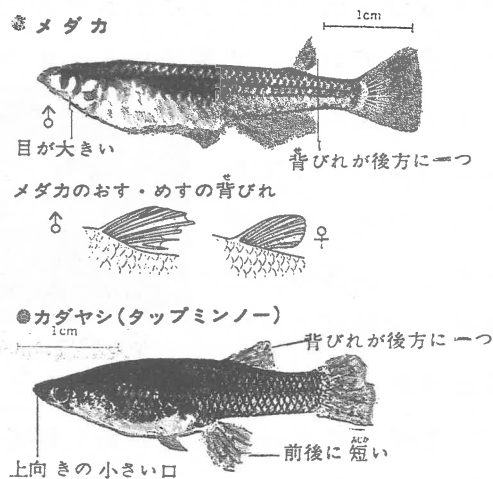
団体、とくに全国各種の「ケナフの会」がケナフの種を配って栽培を奨励している。彼らは善意で環境教育と称してケナフの栽培普及を目的としている。

中国にケナフ畑を作って大量に日本に種子を供給する態勢を種苗メーカーが構想していること、淀川のヨシの代わりにケナフを大量に植えようと考えている団体があること、地球温暖化防止のためにケナフをアピールすることや、そのような安易な教育のためにケナフが使われること、ケナフをもって環境イメージ戦略をたてている企業が多いこと。

どれもがある時は善意で、ある時は営利目的に進められ、ケナフの奨励が結果として誤った方向に進んでしまう現状に真っ向から警鐘を鳴らしている。ケナフ以外にもホタルやコイ、メダカの放流、ホテイアオイやボタンウキクサなどの外来種により生物の絶滅が促進されていることについても同書は言及している。

同書はビオトープにも警告している。単なる専門家による無責任な批判でなく、結果的に自然環境教育とはかけ離れたことが行われかねない現状を指摘している。

これらを十分理解している方以外の人に



カダヤシは大きさと形がメダカに似ている。ボウフラ退治のために北米から持ち込まれた。

は充分読む価値があると思う。環境問題は複雑な要因によって引き起こされているので、一つのことができればそれで解決できるというわけではない。

自動車による公害があるから自動車はいっさい走らせないということが、問題解決になるのか。大気中の二酸化炭素が増えていくからそれを吸収する植物を植えることが、その解決になるのか。絶滅を心配される生物がいるからビオトープを作ればいいのか。

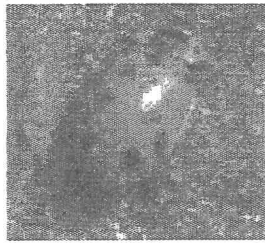
現場ではよもやそんな教え方はしていないにしろ、現実にはケナフやビオトープを通してそのようなとらえ方をしつつある。

自然の力を信じ体験する教育を

IN メダカの田んぼを本当の自然環境にするには、池を深く掘るのではなくて、まず湿田環境を残していくことが一番重要だと思う。年中ぬかるんで、耕されて攪乱があり、春に浅く水が張られ秋に水が抜かれる環境で、池や小川とつながり、草地と林とも連続している環境である。

それから生物を移入する前に現存する、または侵入・回復する生物を調べるべきである。大阪府レッドデータブック（絶滅の恐れのある動植物のリストの大阪府版）に

載るジュウサンホシテントウがメダカの田んぼに生息している。アキアカネ、ナツアカネ、トノサマガエルも。今後はニホンアカガエル、ヒキガエルなども期待できると思う。自然の力を信じ勉強し体験するというのはどうだろうか。



ジュウサンホシテントウ

(傍聴席) MKさんの「自然の力を信じ勉強し体験する」というのは、もともと吹田に生息する生き物であっても、自然を守る

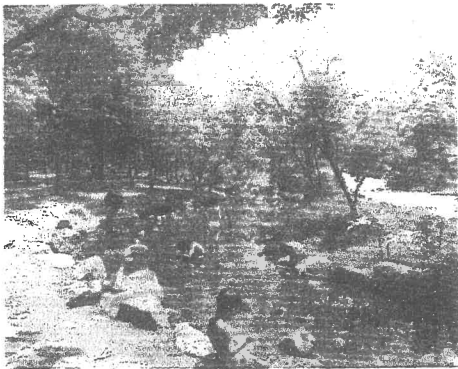
ためには安易に移入してはいけないというご意見だと思う。この問題は、学校ビオトープの問題と共通点があると思う。この姿勢が、今後ビオトープに関わる人間に必要なだと思った。ケナフにしてもいろんな誤りは自然に対して無知なところからきていることが多いと感じる。

もっと自然を知らなくては！！！！

この記事は電子メールによる紫金山会議室の発言を古谷が編集したものです。発言者に本会非会員も含まれます

ビオトープ 京都梅小路公園を見学

すいた市民環境会議は、ジャスコ南千里店と高槻店のエコクラブとの協働事業で梅小路公園を3月23日に見学しました。バス1台を借りて、参加者数は本会から28名、全体で52名でした。



いのちの森

京都市は操車場跡地を利用して広大な公園をつくりました。

7年前に開園し、面積が約11.6haです(釈迦ヶ池を含む紫金山公園に相当)。吹田操車場跡地問題を考えるヒントがここにあると考え企画しました。

約2万㎡(2ha)のビオトープ、約9千㎡の日本庭園、約3万㎡のだだっぴろい芝生広場が目玉です。ビオトープは「いのちの森」と称して、池とせせらぎのある里山に仕立ててあります。踏み荒らされないように散策路を設けてあります。多くの学者が調査に係わり運営しています。

芝生広場は災害時の避難場所になります。帰路、サントリー山崎蒸留所にも寄りました。 [高畠・副会長]



投書 ビオガーデン

松山幸広(南金田)

今仕事で、河川改修事業の提案業務を行っています。そのための資料の一つとして、「野性呼び戻すビオガーデン入門」(杉山恵一、牧恒雄編)を読みましたが、なかなか参考になります。それによると、ビオガーデンという言葉は杉山さんの創作した言葉で、本の冒頭の杉山さんの説明によると、ビオガーデンとは、「ビオトープはドイツにおける定義では完全に野生生物の利益のみを想定したもので、(右頁下へつづく)

水抜きと魚取り 高町池かいぼり大作戦

前号の投書で、高町池に草魚が放たれて水草が壊滅したことを掲載した。ソウギョがヒシなどの水草を食べ尽くし、また放流したブラックバス・ブルーギルのために同池に昔からいた小魚が激減している。吹田市緑化公園室は地域住民からの要望もあり、同池の水を抜いてソウギョなどの外来魚を除去する計画を以前から検討していたが、この度実施することになった。

吹田市はかいぼりに先立って、大阪府立淡水魚試験場と滋賀県立琵琶湖博物館の職員を講師に、西山田地区公民館で池の魚や外来魚に関しての学習会を2回開催し、同時に今回のかいぼりについての説明を行い、地域住民の理解を得られるように努めた。

3月3日(日)のかいぼり大作戦のときは池の岸に約500人が見物に集まった。河内から呼んだ養魚業者が、目の大きい網で魚をたぐり寄せて捕獲した魚の数などは次のとおりだった。

ソウギョ 12匹 ヘラブナ 894匹

コイ(マゴイとヒゴイ) 3匹

ブラックバス約100匹 全部で約1000匹

なお、事前調査では多量のブルーギルの幼魚の中に1匹だけヨシノボリがいた。

底樋が動かないために約1ヶ月後、大型の



表紙に魚とりの写真
見てください
これがソウギョ

排水機を現地に搬入し、数日で水を抜いて、4月5日に再度、養魚業者が魚を捕獲した。

魚類相を見ると、昔から生息する種は非常に貧弱であることが言える。昔はいたはずのモロコやタナゴ、ギンブナなどの魚はまったくいなかった。ヘラブナは釣りのために放流されることが多い魚である。そのヘラブナでさえ稚魚がいなかったことからブラックバスなどの肉食の外来魚のために日本の魚が卵を産んで育つような環境ではなかったことがわかった。

地域住民は外来魚の絶滅を要望しているが、日干しなどで絶滅できるかどうかかわからない。絶滅しても釣りファンがまた放流することが考えられる。

ゴミの除去はおおむね終わり、今後吹田市は水草の植栽などを予定している。

[古谷・編集長]

(左頁からつづく) 人間の利用面は考えないのに対して、人間がそれを美しいと感じ、また、有害な生物を含まない(排除しても良い)、しかし、出来るだけ自然の要素を取り入れ、生態系が充分成立できるようなもの」と説明しています。また、そのなかで、杉山さん自身は生態系の専門家ですので、日本の公園的なビオトープを本物のビオトープと区別する必要性を感じた結果作り出した言葉だそうで、生態系保全面と、人間の利用面との間で苦悩されていることがうかがえました。

言葉を借りれば、メダカのたんぼでの活動は、ビオトープ寄りのビオガーデンづくりといえるのでしょうか。



《 吹田市の鳥 NO.21 》

ムクドリ (椋鳥)

ムクドリ科

平(ヒラ) 軍二・山田西

ムクドリがギョルギョル賑やかに大群で飛び回るさまは、秋の風物詩となっている。吹田市では阪急北千里駅・南千里駅周辺の街路樹が秋堦(アキクラ)となっているため、夕方になると数千羽以上のムクドリが集まり、堦入り前の儀式とも言える群舞を披露しているの、ご存知の方も多と思われる。

ムクドリは体長24cm、橙色の嘴と足、白い顔が目立つ黒っぽい小鳥である。良く似たヒヨドリは波状に飛ぶのに対し、ムクドリの飛ぶ姿は直線的で、両翼と嘴を結んだ線が三角形に見えることから、飛ぶ三角定規と呼ばれている。

ムクドリはユーラシア大陸の北東部の温帯で繁殖しており、日本では北海道～九州まで全国に繁殖するが、四国・九州では少ない。北国で繁殖したムクドリは冬になると南国に移動し越冬するが、吹田市周辺では一年中住んでいる留鳥である。ムクドリはもともと田園地帯に住んでいて木の洞や農家の雨戸の隙間に巣作り・子育てをしていた鳥であるが、最近では千里ニュータウンの住宅地や公園に巣作り場所を見つけて繁殖しており、数も多い。万博公園では外周道路の街路灯が繁殖場所として利用されており、子育て中の親が餌の虫をくわえながら街路灯の隙間に入っていくのが良く観察できる。



ムクドリは子育てを終えると集団で行動する日が多くなり、夜は一ヶ所、いわゆる堦に集まって寝ている。吹田市周辺では15年程前、桃山台駅北東の豊中市新千里南町の竹藪にあったムクドリの堦は、竹藪が開発された後、南千里駅・千里中央駅・北千里駅などニュータウンの駅前に移り、街路樹が利用されるようになったと推定している。ムクドリの堦は昼間の餌取り場所から近いことが条件となるが、駅前を堦としているのは、①鳥獣保護思想の普及により人々が小鳥を捕ったり害を与えたりすることが無くなったこと、②人の多い所は小鳥を襲う天敵のヘビやカラスがいないこと、によるとと思われる。

堦となる街路樹はケヤキなど落葉樹のため、木の葉が落ちてしまうと夜の寝ている姿が丸見えになるため、ムクドリは次なる堦を求めて移動するが、その一つに五月が丘北の竹林がある。しかし、吹田市の堦は何れも秋堦としての利用で、冬になるとムクドリは更にまとまった大きな群、冬堦に集結する性質があり、おそらく大阪市西淀川区にある堦で冬を越していると思われる。

ムクドリの食物は、夏～秋には田んぼや公園の草はらで昆虫・植物の種子、晩秋～冬は柿の実や、トウネズミモチ・ピラカンサなど色のついた木の実である。特に柿の実は、お正月前後に鳥たちの食卓となっており、たわわに実った真っ赤な柿の実がある所で待っていると、ムクドリのみでなく、ヒヨドリ・ツグミ・メジロ・スズメなど、その柿の木の周辺で生活している甘党の鳥が次々やってくるので退屈するいとまがないほどである。

水鳥、寺院、樹木を楽しみながら 安威川右岸の緑道

浅田都司男（まちなみ委員）

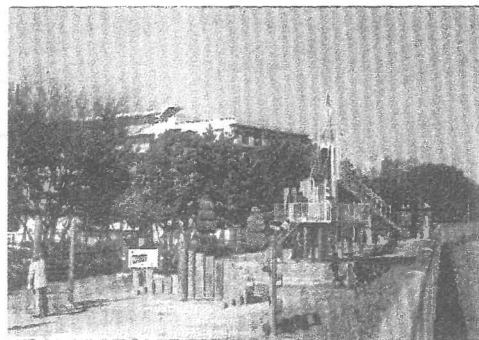
南正雀2丁目から高城町までおよそ2kmにわたって延びる細長い緑道（途中、駐車場の東側に200mほどの中断箇所がある）は、30年以上も前に住民運動の力もあり完成したとされています。阪急相川駅からJR岸辺駅まで（約3km）、途中に公園、緑地、寺院、安威川の景観（たくさんの水鳥がくる中州や摂津市の遠景など）を楽しめる堤防道などがあり、地域住民のオアシス的存在としてジョギングや犬の散歩などに利用されています。

川園町にある隆国寺は新しい寺院ですが、

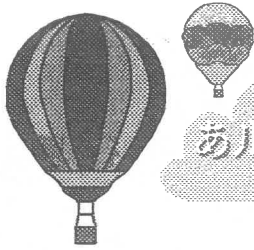
本堂、稲荷社、不動尊のほか大樹に恵まれた美しい庭と大きな墓地があります。

緑道に植栽されている樹木は、ケヤキ、サクラ、キンモクセイ、クスノキを中心にポプラ（20m近い大木もある）、アラカシ、マツ、イチヨウ、カエデ、ムクノキ、タイサンボク、アキニレなど

の高木や、ヤマモモ、ツバキ、ツツジ、ニシキギ、サザンカ、ユキヤナギ、キョウチクトウ、ササなどの中低木まで種類があり、四季のみどりが楽しめます。



わんぱく広場



あलック吹田の散策シリーズ

第7回 旧吹田村コース散策報告

1月26日

第8回 旧榎坂村コース散策報告

3月9日

旧吹田村コース 遺産に感謝と懐かしさ

須賀井やすみ（高野台）

あलックファンの皆様こんにちは。今回は旧吹田村コースの約5kmに同行しました。

JR吹田駅を出発点として、東海道本線と神崎川にはさまれた現在の内本町1、2、3丁目及び高浜町界限になります。常光円満寺本堂の裏には西国33ヶ所一巡の早参りコースが設けてあります。お手軽コースにいかがでしょう。光徳寺境内の大木ムク（保護樹木指定）、イチヨウが今はすっかり葉を落としてそびえています。葉のしっかり茂った頃にきつともう一度出会いに来ます。

次に旧家が残る町なみに入ります。茅葺民家、元北浜米問屋の屋敷。その屋敷の柱には、牛つなぎの錆びた鉄の輪っかがぶら下がっています。はるか昔、この道を牛馬が往来していた頃がしのべれます。

旧仙洞御料西尾邸については、活発に保存運動が行われていることは皆様ご周知の通りだとおもいます。

吹田市唯一の市営墓地入り口には、明治初期に活躍した吹田出身の力士、松の音善蔵の墓石があります。進みますと摂津名所絵図に描かれている「吹田の渡し」跡が、神崎川沿いに案内板で紹介されています。回漕業を営む家が軒を連ね、鬻姿の人々が行き交う話し声や笑い声とともにその当時の様子が偲べれます。打ち寄せる波、白砂青松だったこの辺りには鎌倉時代の貴族、西園寺公経の別荘跡の大木ムクが傘をかぶって保存されています。

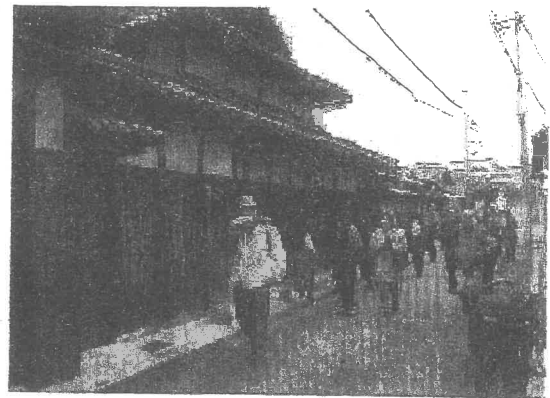
地車の屋根飾りを利用した軒を持つ南町

自治会館前を過ぎ、江戸後期創建の南高浜歴史民家へ。ここは現在市民の意見・知恵等を吸い上げ、歴史と文化の共存を目指して復元に取り組んでいます。どのように変身するのでしょうか。

旭通商店街の東のはずれに、^{なてまふじぞう}建前地蔵尊があります。江戸時代の吹田村三方（竹中、拓植、仙洞御料）が村の重要事項を決めた場所跡に、誰にもそうとは気づかれず建てられています。「こんな所で忘れられてはいないのだ」とうれしくなりました。

花の少ないこの時期、淡い黄色の^{ろうばい}蠟梅がほのかな香りで迎えてくれました。この原稿を書いている今は、梅が薫り高く匂っています。そして次回は緑化植物園の600種の椿に出会えそうです。四季折々のこうした花の移ろいに触れるのも「あलック」の楽しみかもしれません。

文化を残そうという意識の深さにいたる所で出会い、感謝と懐かしさを心一杯にして歩いた1日でした。



南高浜町を歩く

神崎川を利用し、京都・大坂への運輸と対岸との渡し舟で賑わったこの一帯は、現在も旧街道沿いにお屋敷が多く見られます。

江坂駅周辺の賑わい、旧蔵人の重厚な旧家群、江坂町の旧庄屋屋敷などを眺めたが、参加者に一番人気のあったのが江坂町3丁目の法泉寺の見学と住職のお話でした。寺には240年前に大阪津村別院から移築された鐘楼や江戸時代末期まで天満にあった川崎東照宮の朱塗り薬医門など由緒のある建物が目をひきました。

住職のお話は、30分を超えるものであったが、最後まで興味を引くものでした。内容は、寺の発祥（1522年）より前の「悪党の時代」とよばれた鎌倉初期から室町末期にいたる垂水庄の受難の時代からはじまり、

村の行政・信仰の中心として当山が開かれたこと、30年にわたり寄寓した江戸時代の医師で和算学者・渡辺英綱（1751～1789年）の逸話、所有する「長柄の人柱」伝説の岩氏の念持仏など、当山にまつわる話をフルコースで聞かせて頂きました。

筆者の註

垂水庄の「悪党の時代」とは、現在の吹田南西の隅・江坂町、豊津町、芳野町、江の木町と豊中市小曾根町が平安初期より戦国時代まで東寺の荘園だったが、鎌倉時代から室町時代後期までの百数十年間、地元の蜂起や吹田氏、高槻の芥河氏などにより

荘園の権益を脅かされた。東寺側から見てこの時代を「悪党の時代」と言う。特別展は「東寺百合文書」を中心にしたものであった。（参考文献：吹田市立博物館平成13年度特別展「東寺領垂水庄 — 悪党の時代 —」）

この公共空間は市民が自由に立ち入ることができません。机とベンチがあり、休憩もできません。2階に喫茶店もあります。



ダスキン本社ビル（江坂駅の北出口、御堂筋西側、ローソンから北へ3つ目のビル）2階の公共空間にある岡本太郎の壁画「みつめあう愛」の前に参加者集合

短信

第6回ヒメボタルサミット（主催・吹田ヒメボタルの会、後援・吹田市）が3月10日、メイシアター集会室で開催され、各地でホタルなどの観察会をしている15市民団体、学校など公立の10団体、約150人の参加者が集いました。東は東京都八王子市、西は兵庫県水上郡山南町からの参加がありました。

午前の「希望者によるヒメボタル生息地の見学」には22名が参加しました。

午後は、横須賀市自然・人文博物館主任学芸員、大場信義さんに講演していただき、続いて9団体から報告がありました。

吹田ヒメボタルの会は塩田敏治さんが「ヒメボタルの子育て」を発表し、西山田ヒメボタルの会は「吹田ヒメボタル市民調査の4年間」の発表と紙芝居「いまヒメボタルはどうしているの」を披露しました。司会は本会会長の小田忠文さんが努めました。

2003年第7回ヒメボタルサミットは兵庫県水上郡山南町で開催されます。

燃えさかる野焼きの焰のように

20年ほど前、吹田市でいくつかのサークルが集まって「おらが町コンサート」を開いた。出演したコーラスグループのメンバーのなかに、太鼓を打てる人が数人いて仲間となり、保育所などで演奏した。

“郷土サークル野火”の誕生だ。

太鼓の響きに魅せられて、打ってみたいという人たちも集まってきた。練習場所に吹田市民会館や作業所を借りるが、大太鼓が打てない。ときには鳥飼大橋の下になるときもある。「いつでも気がねなく太鼓が打てる場所がほしい……」という思いが膨らむ。

一方、高度成長期を過ぎて故郷・自然に人々が再び目を向け始めている今、郷土芸能が新しく蘇^{よみがえ}ってきていて、年齢を越えて感動をよび、公演・指導依頼が増えている。

その活動のつながりからたくさんの太鼓サークルが生まれたが、「練習場所が無い」「太鼓や民舞を教えて」という声に応えるための拠点となる場所がない。そこで、「よりどころとなる練習場を持つ会館を建設するため法人格を取得し、社会的に責任を持つ団体として活動するため」特定非営利活動団体“野火”が設立された。

2000年9月25日のことである。

資料によると、

——“野火”は日本の民族的文化である太鼓、民舞などを学び、再創造し、郷土芸能の継承・発展のための普及事業を行っていきます——

①各団体の要請に応じて、太鼓や民舞の演奏者や講師を派遣する。

②より多くの人に太鼓や民舞等を伝えるため講習会を開催する。

③郷土芸能に関する調査・研究をする。

④郷土芸能関係の他団体、個人と協力・協同し、郷土芸能の発展に努める。

⑤その他目的を達成するために必要な事業を行う。とある。

練習場の建築に要する総費用8,600万円のうち4,100万円が建設債券、3,000万円を銀行融資、あとの1,500万円を寄付金で賄う。会館の名前は、“野火会館さとね”。郷(さと)音(ね)に通じる。

防音・遮音を徹底重視した練習場が2つとNPO野火の事務室がある。

吹田から始まった“野火”だから、ぜひ吹田の地にと、吹田市山田東1丁目に建つ。5階建てで2階から上はマンションとし、10戸全てを会員が購入した。完成予定は今年9月。完成したら、子どもたちや初心者への講習や、演目を覚えたい人のためのコース、練習場所確保に苦勞している太鼓団体への場所の提供などに使う予定だ。

最初は5人から始まった“野火”が今では40人を超え、高槻市、茨木市、箕面市、豊中市を始め、堺市や大阪狭山市からの参加もある。太鼓や民舞の生の音、生の躍動を人々に伝え続けてきた仲間なのだ。

——名称“野火”は春の息吹を誘う燃えさかる野焼きの火のことをいいます——NPO設立趣意書に、副理事長・斎藤正男さんはこう書いた。

理事長・上野真澄さんは「人間性あふれる豊かな心を生み出し、平和で住みやすい社会の創造につながる活動を展開していくことが法人“野火”の役割です」という。

“野火会館さとね”の完成が楽しみだ。

会報委員 岩溪 恭子

○正 会 員 (126人)

青木	タミコ	大越	好子	熊野	三千代	武田	義明	西川	たけお	馬垣	安芳
秋山	こづえ	大澤	浩子	黒田	悦三	田澤	修一	西川	哲成	真壁	映子
浅田	都司男	岡田	篤司	小池	淳一	翼	京子	西谷	玉枝	牧野	展元
熱田	克子	岡部	佐内	後藤	寿満子	田面	郁次	橋口	健一	間瀬	彩月
安封	久美子	岡村	昇二	小林	幹生	田中	脩	橋本	徹也	松岡	要三
阿部	誠行	小川	敏津子	小室	巧	田中	一子	長谷川	達海	松山	幸広
天野	正子	奥山	悦男	佐江木	了治	谷川	善彦	長谷川	美津代	水川	晶子
有澤	壽子	小田	忠文	櫻井	あかね	千代延	明憲	土生	陽子	南田	順子
池田	薫	小田	信子	佐々木	良太	出原	正道	播磨	真津代	宮川	治樹
池淵	佐知子	海原	登美子	佐藤	和子	寺尾	恵子	治村	嘉寿子	宮本	好彦
磯田	栄子	笠岡	英次	塩川	哲雄	土志田	新八	彦坂	利久	三輪	信哉
伊藤	勝子	香月	利明	塩田	敏治	中井	佳子	平	軍二	村住	和子
井上	雄介	加藤	俊二	柴田	晃	中尾	久美子	平山	節子	邑本	恵子
岩井	みゆき	川口	雅之	清水	由紀子	中尾	忍	広村	知幸	森本	彪
岩溪	恭子	喜田	久美子	須賀井	やすみ	長坂	孟重	福永	美代子	山上	光枝
上田	万吉	北尾	賀永子	菅原	節子	中土	康雄	伏木	章	山田	國廣
宇都宮	正則	木下	宏子	鈴木	和子	仲埜	ひろ	藤村	修	山出	光文
梅原	千鶴	木下	嘉清	高桑	常子	中松	美智子	古谷	啓伸	山本	富雄
梅原	章一	木村	雄次郎	高畠	耕一郎	中村	小夜子	堀	節子	由井	昭徳
卜部	弘信	草野	弘靖	田口	實	西尾	熱子	本地	綏子	由上	勇
大江	尚子	熊野	節子	竹内	美由紀	西川	整子	前屋舗	弘之	吉村	哲彦

○購読会員 (111人)

赤堀	栄子	梶川	文代	小出	永子	杉林	百合子	西木	勲	水井	賢治
秋山	芳恵	梶山	佳代子	古賀	康之	鈴木	たつ江	西谷	文和	宮崎	恵子
有田	亮一	片山	むつみ	児玉	恵美子	鈴木	節子	西埜	弥生	武藤	正治
生駒	敏子	勝矢	久仁子	後藤	治人	鈴木	とみ子	橋本	英樹	村住	正孝
石原	真弓	金子	誠一	小松	孝子	鈴木	真世	八田	佳子	村住	正行
市川	貴美代	川井	悠子	小室	千恵子	瀬川	和子	濱口	和子	森岡	寛光
伊藤	隆子	河面	堯	古屋	美千代	瀬川	勝	浜田	政夫	森	邦子
稲波	誠	木田	祐子	佐伯	千賀子	瀬屋	好治	林	捷子	山岸	貞造
梅田	茂	北方	隆	阪上	靖子	竹内	孝之	松垣	美佐枝	山口	克也
榎原	貞子	喜田	啓之	阪口	善雄	武坂	静雄	平田	賢一	山下	宗一
太田	英子	北村	英一	坂本	喜久子	武田	ゆき子	平田	敏	山田	千穂子
大塚	光二	北村	正子	桜井	稀衣	俵石	正雄	平野	寿美子	山根	孝
岡本	悦子	木原	治子	佐々木	恵子	丹羽	ミネ子	藤原	博史	横山	正和
小儀	賀代	木村	澄夫	佐藤	百合子	寺西	由美子	二上	正子	吉田	栄司
沖原	満生	木村	裕	柴原	恵	土井	唯夫	筆前	祐子	石川	信行
奥田	倫子	楠元	美智子	新名	貞夫	長崎	尚子	前田	敦史	匿名1人	
奥谷	正実	國田	三紗子	菅原	潔	中島	康博	松岡	幹郎		
小田	定子	栗木	祐子	菅原	新	仲	直樹	松田	遼		
越智	清光	栗本	修滋	杉浦	隆子	成田	靖穂	三崎	敬二		

○法人正会員 (4社)

小儀動物病院 (株) 井上昇商店 (社) 吹田市医師会 (株) 近畿シビルコンサルタント

正会員から購読会員へ → 移行を希望される方は
購読会員から正会員へ 書面で事務局に届けてください。

正会員 総会で議決権があります。

購読会員 総会で議決権がありませんが、その他は正会員と同じ資格です。

会費などは表紙の題字の下をご覧ください。

2001年度 会費納入者

2001年11月1日～2002年3月31日入金者（敬称略）

正会員（新入、個人・団体） 谷川善彦(01)、岩井みゆき(01)、中井佳子(01)、小池淳一(02)、
治村嘉寿子(02)、磯田栄子(02)、真壁映子(02)

正会員（継続、個人・団体） 梅原章一(02)、梅原千鶴(02)、福永美代子(02)、須賀井やすみ(02)、
巽京子(02)、中尾忍(02)、吉村哲彦(01)、西川整子(~02)、岡田篤司(01)、田中脩(02)、田中一子(02)、
間瀬彩月(02)、馬垣安芳(01)、木下嘉清(02)、長坂孟重(02)

正会員（継続、法人） なし

購読会員（新入） 竹内孝之(02)、梶山佳代子(02)、喜田啓之(02)、児玉恵美子(02)、坂本喜久子(02)、
杉浦隆子(02)、宮崎恵子(02)

購読会員（継続） 菅原新(01)、伊藤隆子(02)、越智清光(02)、鈴木真世(02)、山岸貞造(~04)、
濱口和子(02)、筆前祐子(01)、西埜弥生(01)、三崎敬二(02)、檜垣美佐枝(02)、山田千穂子(02)、
木村澄夫(01)、岡和子(01)、佐伯千賀子(02)、杉林百合子(02)、瀬川和子(02)、瀬川勝(02)

2002年4月1日現在の会員数 正会員(個人126人・団体0・法人4社)

購読会員(111人) 賛助会員(0人)

★ 封筒の宛先ラベルの下段に入金済みの年度を記入していますのでご確認ください。(～03)は2003年度分まで入金済みです。

★ 2002年度会費未納の方は入金をお願いします。

★ 会員の種類、会費金額、郵便振込先は表紙の題字下に掲載しています。

★ 会費についてのお問合わせ、会員の種類変更などは

会計 橋口TEL 06-6872-0208（夜間のみ）、FAX 06-6872-0208（終日受信）まで。

ご寄付をいただいた方々 2001年11月1日～2002年3月31日（敬称略）

小田忠文(20,000円)、平軍二(50,000円)、小田信子(35,000円)、熱田克子(18,696円)、
佐藤和子(10,000円)、㈱ティ・エル・コーポレーション(会報誌の配達会社が1,000円分の買い物カード)、
ジャスコ南千里店・イエローシート(16,360円) 下表の2月までの累計です。四捨五入の関係で端数にずれがあります。

ジャスコ南千里店の「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」

毎月11日のイエロー・レシートを援助してあげたい団体の箱に投入すれば、その売上げ額の1%が団体に寄付されます。数字は投函されたレシートに記載された売上げ額で、単位は千円。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計
すいた市民環境会議	3	733	303	125	471	180	115	1930
団体A	372	880	708	337	1219	645	479	4640
団体B	33	317	546	111	646	317	83	2053
団体C	28	601	162	302	843	326	261	2523
団体D	31	373	125	118	265	263	86	1261

本号は5月10日までに配達を完了する予定です。遅配された場合は古谷(☎06-6387-2139)まで連絡をいただくようお願いいたします。前号24号(「自治会の燃焼ごみの減少」などを掲載)は1月10日頃に配達しましたが、届いてない方も連絡をお願いいたします。

編集後記

本号から印刷機が替わります。最新機械なので今までよりきれいに印刷できるはずですが、初回はどうか心配です。文字と写真の濃度バランスの取り方がむづかしいです。

次号の原稿締切りは6月20日、お届け予定は8月7日頃です。

FAX 06-6387-2139

〒564-0001 吹田市岸部北5-9-4 Eメール furuyahi@gold.ocn.ne.jp